

- ◆公益財団法人 小平記念日立教育振興財団
- ◆公益財団法人 日立環境財団
- ◆公益財団法人 倉田記念日立科学技術財団
- ◆公益財団法人 日立国際奨学財団
- ◆公益財団法人 日立みらい財団
- ◆日立ファウンデーション(米国)

ZAIDAN Report

日立みらい財団

● 第1回「犯罪と非行」誌創刊45周年記念シンポジウム

2014年11月29日(土)『地域における子どもの安全』と題し、家族や学校だけでなく地域の方々と連携し、いかにしたら子どもの安全を確実に守ることができるか多角的に考える機会としました。

シンポジウムの内容は、3月中旬に発行予定の「犯罪と非行」179号と日立みらい財団のホームページに掲載いたします。

基調講演



片山 右京氏

片山右京さんは登山家であり元F1ドライバー。現在はプロロードレースチーム「Team UKYO」を率いたり、「チャレンジングスクール」の校長を務めるなど、沢山の肩書きをお持ちです。体験された多くのお話をうかがいました。子ども時代のこと、F1ドライバーになるきっかけや、登山についてや、ボランティア活動など数々の体験談をうかがいました。最後に氏は「子どもたちもプライドを持っているのだから大人が好きなことを一所懸命やって、失敗して傷ついているところを見せた方が子どもは安心できますよ」などのメッセージを熱っぽく残されました。



左から、宮田様・小林様・舟生様・片山様・葛岡理事長・守山様

シンポジウム

現代社会における子どもの保護



守山 正氏

海外の「子どもの保護」と日本の実情を比較。虐待に対する国の意識の違いなどを解説。

早稲田大学大学院博士課程、早稲田大学、慶應義塾大学講師などを経て、現職。その間、拓殖大学教授。ブリテッシュ・カウンシル派遣研究院により、ケンブリッジ大学犯罪研究所、また国連ローマ犯罪司法研究所(UNICRI)に客員研究員として留学。その後、イギリス犯罪研究所に従事。国内ではJSTプロジェクト「子どもの安全」に参加。著書に「イギリス犯罪学研究」「ビギナース刑事政策」など。

子どもの「自分を守る力」を育むために

国内の子どもの被害事例をもとに地域と子ども自身の対策「自分を守る力」を育むことについて解説。

日本女子大学総合研究所市民安全学研究センター研究員、日本女子大学人間社会学部客員准教授を経て、日本子どもの安全教育総合研究所(特定非営利活動法人)理事長。現在は、順天堂大学医学部協力研究員および研究所理事長、放送大学非常勤講師ほか、NHKテレビ「視点・論点」「週刊ニュース深読み」、NHKエデュカチオ!「あさイチ」ほか出演。



宮田 美恵子氏

子どもを非行に走らせない～地域参加活動の重要性



小林 寿一氏

全国調査の分析結果をもとに、地域の環境美化活動などに参加して人と協働する経験をもつことが青少年の非行防止に寄与することを解説。

東京大学文学部卒業後、2012年より科学警察研究所犯罪行動科学部付主任研究官。2000年に米国アリゾナ大学より博士号を取得。日本犯罪心理学会常任理事、日本犯罪学会理事などを歴任。

インターネットから子どもを守る

ネットを安全に利用していくために、正しい情報を得て親子で学ぶこと、そして家族のルールを決めることの大切さについて解説。

セコム株式会社 IS研究所 主務研究員/「子どもの安全ブログ」モデレーター/キッズデザイン協議会理事。子どもを狙う犯罪が多発する社会状況の中で、各方面に対して積極的にセキュリティコンサルティングを実施。各種防犯セミナーの講師や書籍の監修などを行い、自らも2児の父として、子どもを守るための調査・研究・啓発活動に日々取り組んでいる。



舟生 岳夫氏

日立環境財団

●「環境NPO助成」受領団体による活動報告会を開催しました

日時：2014年12月6日(土) 13:00~18:00
場所：東お茶の水ビル 2階ホール(東京都千代田区神田)
参加者：70名

「環境NPO助成」は環境分野で活動するNPOや市民団体を対象とした助成金プログラムです。当財団では、この助成金による活動成果を発表する場として、2年に1回報告会を開催しています。4回目となる今回の報告会は、第11回(2012年)、第12回(2013年)に助成を受けた17団体が参加し、発表を行いました。

発表の内容は、富士山頂の測候所においてPM2.5を含む大気中の分析調査を行う活動や、高校生による希少植物の保護とバイオテクノロジーを用いた増殖活動、ベトナムにおける有機農業の実践など、国内外の幅広い分野にわたる活動成果で、会場の参加者は熱心に耳を傾け、活発な質疑応答が行われました。



また、会場ロビーの資料・展示コーナーでは、助成金で作られた小型電気自動車の実車展示のほか、助成事業を行っている他の財団、企業の資料なども紹介しました。

報告会後は交流会を催し、NPO/NGOの相互交流だけでなく、助成金に関する情報交換や財団・企業との連携に向けたネットワーク作りなど、和やかな雰囲気のもと親睦を深めました。

各団体の発表資料は以下の財団ウェブサイトでご覧いただけます。

なお、この発表資料を1冊に纏めたプログラム冊子は残部がある限り差し上げておりますので、ご希望の方は財団事務局までお問い合わせください。



●環境サイエンスカフェ 開催報告

「水をめぐる地球環境問題」

講師：谷口 真人 さん(総合地球環境学研究所 教授)
第23回:(その1)世界の水問題を衛星で見る・現場で見る
日時：2014年10月22日(水) 参加者：39名
第24回:(その2)水・エネルギー・食料のつながり
日時：2014年12月10日(水) 参加者：33名

水をめぐる地球環境問題をテーマに2回シリーズで開催しました。人工衛星を使い地球規模の水量を観測する最新技術の紹介や、身近な水問題の現状のほか、新しく始まる持続可能な

地球環境についての世界協働の動きなど、さまざまな視点からお話いただきました。

詳しい内容は、後日財団ウェブサイトにて講演録を掲載します。過去開催回の講演録も順次掲載しておりますので、ご興味のある方はご覧ください。



▶▶ <http://www.hitachi-zaidan.org/kankyo/works/work04.html>

財団Facebook <https://www.facebook.com/hitachi.kankyo>

倉田記念日立科学技術財団

●倉田奨励金研究報告 第44集を発行しました



「倉田奨励金研究報告」は、倉田奨励金の助成を受けた研究成果を、多くの方に知っていただくことを目的として、年1回発行しているものです。

最新号の第44集は、平成24年度に助成金を受けた研究者を主に、58名の研究成果を掲載しています。その中から、各分野の研究テーマを一部ご紹介します。

全ての研究テーマ名は、財団ホームページに目次を公開しておりますので、こちらをご覧ください。また、本誌は在庫がある限りご希望の方へ差し上げておりますので、財団事務局までお問い合わせください。

▶▶ zaidan.org/kurata/works/work03.html

- ◆ 物理
中性子物質のガモフ・テラー励起 (東京大学 矢向 謙太郎)
- ◆ 有機化学
多点制御型不斉触媒の創成による環境調和型合成手法の開発 (名古屋工業大学 中村 修一)
- ◆ 無機化学
In-situ 錯体形成を利用した機能性ナノ材料の開発 (新潟大学 齊藤 健二)
- ◆ 生命科学
ウイルスRNA 複製におけるリボソーム蛋白質の役割の分子基盤 (産業技術総合研究所 富田 耕造)
- ◆ 電気・電子工学
グラフェン光変調器応用にに向けたプラズモンギャップ制御 (東京大学 竹中 充)
- ◆ 機械工学
ムカデ型多脚歩行ロボットの脚と体節関節の同時制御による高機動化の実現 (名古屋大学 桑原 真人)
- ◆ 情報工学
複数のセンサ情報により観測された出来事を言葉で説明する手法の開発 (お茶の水女子大学 小林 一郎)

小平記念日立教育振興財団

小平記念日立教育振興財団から施設閉鎖のお知らせ
ご挨拶 理事長 田中 幸二

新しい年を迎え、財団のニュースレターを通じ、ご挨拶申し上げます。皆さまがたには日ごろより各財団へのご支援とご協力をいただきありがとうございます。

このたび、当財団の事業の一環として運営してまいりました、日立家庭教育センター(日立市)並びに日立家庭教育研究所(横浜市)を、平成27年3月31日をもって閉鎖することになりました。皆さまには、当施設に對しまして多大なご支援を賜りありがとうございました。両施設とも設立後約40年が経過し、「子育て支援」の仕組みが、設立当初から大きく時代が変化したことにあわせ、現代社会のニーズを捉え、新たな家庭教育振興事業を展開し、引き続き子育て支援に取り組んでまいり所存でございます。これまで同様ご指導ご支援を賜れば幸甚に存じます。これからも、よろしくお願い申し上げます。 敬具

●第25回駒井メモリアル 家庭教育シンポジウム開催

2014年11月8日「子育て支援の広がり」と課題「0~2歳の家庭教育」というテーマでシンポジウムを開催しました。子育て中の方や子育て支援者、保育士、大学関係者や研究者他多くの皆さまに参加いただきました。講演内容はホームページをご覧ください。

財団ホームページ <http://www.hitachi-zaidan.org/odaira/>



●講演会のお知らせ(日立市)

日立市と共催で「ともぞち講演会」を開催します。NHK「すくすく子育て」でご活躍の汐見先生をお招きして家族みんなで新学期を楽しみに迎えるためのお話です。

「子育てでいちばん大切なこと」
—新学期を家族で楽しく迎えるために—

講師：汐見 稔幸 先生(白梅学園大学学長・東京大学名誉教授)
日時：3月21日(土) 10時~12時
場所：日立市保健センターホール(2階)
定員：先着150名(託児先着) 無料
お申込：財団のホームページをご覧ください。

◆日立家庭教育センター

茨城県日立市
西成沢町2-4-20



◆日立家庭教育研究所

神奈川県横浜市
戸塚区汲沢1-27-6



子育ての変貌と次世代育成支援

—思春期臨床と親支援プログラムの実践から親準備性を考える—

原田 正文 氏(大阪人間科学大学大学院副学長/ NPOこころの子育てインターネット関西代表)

家庭教育からみた子育て支援の課題

—親子教室の実践を踏まえて—

中野 由美子 氏(家庭教育研究委員会委員/元日立家庭教育研究所主幹研究員/目白大学大学院講師)

仲間と共に学び 育ちあう

—4人の子育てを通して—

連見 純子 氏(家庭教育研究所第20期修了生/横浜子育てサポートシステム鶴見区支部コーディネーター)

親になる 親として生きる

長瀬 仁 氏(社会福祉法人なすな森の樹保育園保育士/ NPO環の会メンバー)

失われる子育ての時間

—「子育てを楽に」から「子育てを楽しむ」社会へ—

池本 美香 氏(日本総合研究所調査部 主任研究員コーディネーター)

コーディネーター

西田 知佳子 氏(家庭教育研究委員会委員/ NPO環の会)

●高尾記念市民公開講座のお知らせ(日立市)

小中学生を対象に科学のおもしろさを知ってもらうためセミナーを開催します。講師は歌う生物学者としておなじみの本川達雄先生です。

演 題：「ゾウの時間 ネズミの時間」

講 師：本川 達雄 先生(東京工業大学 名誉教授)

日 時：3月28日(土) 13時30分~15時

場 所：日立ライフビル5階(日立市)

定 員：先着100名 無料

お申込：財団のホームページをご覧ください。

日立国際奨学財団

●2015年奨学生選考にむけ、大学訪問を実施

日立国際奨学財団では、東南アジアの大学教員を対象に、自然科学分野における日本の大学院博士課程研究支援をする「奨学プログラム」、ポストクの短期研究支援を行う「リサーチ・フェローシップ」、日本に関連する文科系分野の短期研究支援を行う駒井フェローシップを実施しています。応募は、毎年6月に開始し、10月末に締め切っています。毎年多くの応募がありますが、12月から1月末にかけて、東南アジア6カ国、15の大学を回り、応募者との面接に加え、大学当局との打合せ、財団設立から387名にのぼる卒業生の皆さんとの懇談会を行っています。大学当局との打ち合わせでは、大学の人材育成についての考え方をよく伺い、財団のプログラムが大学のニーズにマッチしているかを確認し、また卒業生との懇談を通じ、その後の仕事ぶりを聞くなどして、日立国際奨学財団(HSF)ファミリーとしての人的ネットワークの深化を推し進めています。

日立国際奨学財団では、留学中に培った経験と交流の絆は、各プログラムの完了の後帰国をもって



タイ・チュラロンコン大学にて学長と卒業生とともに



タイ・コンケン市内でコンケン大学学長、副学長、卒業生他とともに

終了するわけではなく、日本における就学が長期的な協力と協調をめざし、着実かつ多様なネットワークを築く第一歩と考えています。

今年度は、12月にタイ、フィリピン、ベトナムの8大学、1月にはシンガポール、インドネシア、マレーシアの7大学を回りました。各大学で、応募者との面談を通じて感じるのは、各応募者が非常によく勉強をし、また熱心に研究に挑んでいるのですが、さらに自らの力を高めるために日本の大学で勉強あるいは研究を熱望している、その意欲の大変高いことです。一方、学長をはじめ管理部門の方々にお話を聞くと、当財団の提案するプログラムは奨学金のレベルもさることながら、人的なサポートなど金銭面以外のサポートが行き届いていることで他のどの奨学制度よりも優れているとの評価をいただいています。日立国際奨学財団は今年で31年目を迎えました。現地大学や卒業生の声を聞きながら常に新しいニーズにも応えていけるよう、これからも努力してまいります。



フィリピン大学ロスバニョス校学長室にて学長、副学長、卒業生と



インドネシア大学にて学長と卒業生とともに

イベント情報

倉田記念日立科学技術財団 第47回 倉田奨励金贈呈式開催のお知らせ

自然科学分野の研究者に対して助成する「倉田奨励金」の贈呈式を、以下のとおり開催します。

日 時：2015年3月2日(月)

贈呈式 11:00~12:00

記念パーティー 12:00~13:00

会 場：経団連会館(千代田区大手町1-3-2)

当日は今年度の受領者53名をはじめ、日本を代表する研究者が一堂に会します。

参加ご希望の方は、財団事務局までご連絡ください。案内状をお送りいたします。

日立国際奨学財団 奨学生卒業式典のお知らせ

2014年度卒業式を下記にて開催します。奨学生の指導教授、在日大使館など多くのの方々をお招きしております。

日 時：2015年3月11日(水)

18:00~20:00

会 場：東京ガーデンパレス

(千代田区文京区)

編集後記

本誌でお知らせしたように、小平記念日立教育振興財団の日立家庭教育研究所(戸塚区)と日立家庭教育センター(日立市)が2015年3月31日をもって閉鎖します。研究所の修了生は37年間で4,609組、センターの修了生は41年間で5,425組となりました。この間、多くの方々に利用していただきましたが、時とともに、ニーズも変化してきました。この歴史に幕をとじるのは非常に悲しいことですが、これからも子育て支援を重視し社会に貢献してまいりたいと思います。次号の24号は4月1日に発行予定です。



本ニュースレターに関するご意見・ご感想等がございましたら、財団までお寄せください。お待ちしております。

公益財団法人 小平記念日立教育振興財団

✉ odairakinen@hdq.hitachi.co.jp

TEL 03-5221-6675

公益財団法人 倉田記念日立科学技術財団

✉ kurata@hdq.hitachi.co.jp

TEL 03-5221-6678

公益財団法人 日立環境財団

✉ kankyo@hdq.hitachi.co.jp

TEL 03-5221-6677

公益財団法人 日立国際奨学財団

✉ scholarship@hdq.hitachi.co.jp

TEL 03-5221-6679

公益財団法人 日立みらい財団

✉ mirai@hdq.hitachi.co.jp

TEL 03-5221-6675

日立ファウンデーション(米国)

✉ shakai.koken.qm@hitachi.com

TEL 03-4235-5801

*日立ファウンデーションについてのお問い合わせは(株)日立製作所 CSR・環境戦略本部・社会貢献部まで。

所在地 〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービル12階

FAX 03-5221-6680



発行日:2015年2月20日発行

発行責任者:神山 和也

編集責任者:寺村 奈津季

印刷:(株)日立ドキュメントソリューションズ

財団ホームページ ▶▶▶

www.hitachi-zaidan.org